

【様式1】

令和6年度 授業改善推進プラン

東久留米市立第三小学校 第4学年

教科	学力に関する各調査に基づく児童の学習状況分析 (数値等で具体的に示す)	具体的な授業改善策及び目標値 (数値等で具体的に示す)
国語	<ul style="list-style-type: none"> 文章を正しく読み取ることに課題（誤読、言語化）があり、概ね正しく読解できる（と見とれる）児童は約7割である。 漢字を正確に書いたり日常的に使用したりすることに課題がある。（書きに課題：2割 日常的に使用することに課題：3割） 促音や拗音等、仮名表記に課題が見られる児童が1割である。 聞いたことを正しく理解できないすることに課題がある児童が2割程度いる。 	<p>指導計画の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 他教科や領域と関連させて、児童が主体的に読解や課題解決を図る機会を適切に設定する。 <p>学習活動の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童同士で読みを共有する活動を繰り返し一設定し、相互に合わせて行っていくことで、8割以上の児童が正しく文章を読み取れるようにする。 丁寧なノート指導を通して自分の間違いを正しく直す機会を設けるとともに、漢字の習熟の確認を毎週定期的に行うことで、8割以上の児童が誤字脱字なく文章を書けるようにすること、漢字のワークテストで十分に成果を出すことを目指す。 5W1Hを意識しながら聞いたり、話したりする活動を学習の中で取り入れ、「聞く・話す」テストで全体の正答率90%以上を目指す。
算数	<p>1学期に実施した東京ベーシックドリルから、以下の結果となった。</p> <ul style="list-style-type: none"> 文章題の問題場面を捉え、数量関係を図で表すことに課題が見られる。正答率が42%であった。 表やグラフなどの表現処理が十分できず、正確に表すことに課題が見られる。正確に表に表すことができた児童が47%、グラフに表すことができた児童が46%といずれも正答率が5割を下回る結果となった。 	<p>学習活動の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 既習事項の理解及び習得の時間を、領域に合わせて計画的に繰り返し行う時間を授業内で設ける。 具体物や図を積極的に活用して、文章を視覚的にイメージしやすくし、8割以上の児童が理解できるようにする。 <p>学習集団編制</p> <ul style="list-style-type: none"> 単元ごとに既習事項を把握するレディネステストを実施し、課題に応じた学習集団編制（習熟度別少人数指導）をする。 学習集団ごとに、問題設定や学習展開及び手立ての工夫をし、それぞれの課題に合った指導を展開する。特に、表やグラフを学ぶ単元では演習時の個別支援を充実させることで、6割以上の児童が表やグラフで正しく表現できるようにする。
理科	<ul style="list-style-type: none"> 今年度1学期のワークテストにおける正答率は、知識・技能が80%程度、思考・判断・表現は80%である。 観察や実験にはすべての児童が意欲的に取り組んでいる。 実験結果からどのようなことが分かるのか、考察に課題がある児童が3割程度いる。 	<p>問題設定の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 何を明らかにする観察や実験か目的を明確にしてノートに書かせる。 <p>まとめ・振り返りの充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 実験の目的を思い出させるために、めあてや問題に戻って考えるように指示する。8割以上の児童が書く活動の際に意識して書けるようにする。
体育	<ul style="list-style-type: none"> 令和6年度体力テスト結果より、男女とも共通して「反復横跳び」と「立ち幅跳び」の数値が全国平均より5ポイント低く、身体全体を使って運動することに課題があることが分かる。 健康に関する意識調査（健康のために、学習したことを生活に役立てているか？）において、肯定的回答が80%を下回っており、学習したことの日常化に課題がある。 	<p>学習活動の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 学習内容に合った補助運動に十分に取り組み、全身を使う運動経験の機会を確保する。 学習内容に合った補助運動に十分に取り組み、全身を使う運動経験を確保する。 <p>学習活動の工夫により、「反復横跳び」と「立ち幅跳び」の全国平均を上回るようにする。</p> <p>まとめ・振り返りの工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 学習のねらいについての振り返りの中で、日常化について扱うことで、健康に関する意識調査の肯定的回答を80%以上にする。